

四角形を仲間分けしよう

単元	垂直・平行と四角形	対象学年	4年
ねらい	四角形の作図を容易にし、仲間分けした四角形を全体で共有したり、比較したりすることができる。		

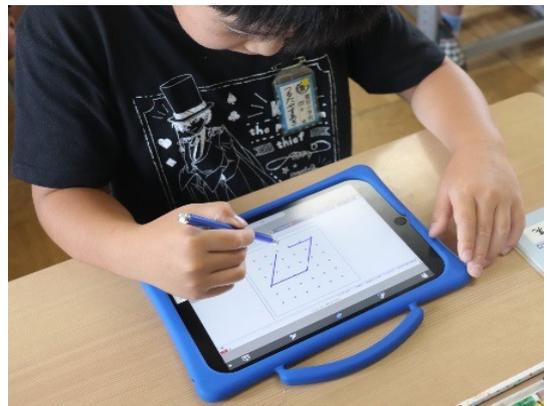
1 準備するもの

教師：タブレット端末（児童分）、タッチペン（児童分）

2 学習のしかた

(1) 学習内容を把握する。

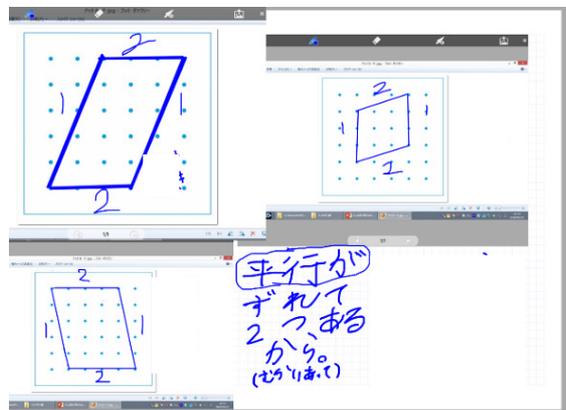
生活の中にあるさまざまな四角形を大型ディスプレイで見せる。そして、提示した四角形がどんな四角形なのかを辺に着目し、考えられるようにする。どんな四角形で仲間分けできるのかを学習課題として、授業を進めていく。



資料1 作図している様子

(2) 四角形を作図する。

タブレット端末の「xSync」というアプリケーションで仲間分けするための四角形を作図する。作図をした画面をスクリーンショットして、教師のタブレット端末に送信する。



資料2 仲間分けした画面

(3) 四角形を仲間分けする。

教師から送られてきた学級の児童全員の画像から、自分が作図した四角形と似ている画像を選択し、似ている理由を書き込むようにする。

(4) 仲間分けしたものを説明する。

隣同士で、自分が選択して仲間分けをした四角形の理由を説明する。

隣同士が終わった後は、全体で発表し、向かい合う平行な辺の組の数の違いによって、「台形」と「平行四辺形」と呼ばれる四角形があることをおさえていく。



資料3 説明している場面

3 学習上の留意点

- ・作図をさせる四角形は、「正方形」「長方形」以外の四角形をかくように指示する。
- ・「xSync」の直線を引く機能を使って引くように指示する。
- ・タッチペンを配付し、作図や書き込みが容易にできるようにする。
- ・作図をする画面は、ドットカードを使用すると四角形がかきやすい。
- ・作図した四角形をスクリーンショットで送る際、自分の名前も書くようにすると送信状況が分かる。
- ・操作等で困っている児童に対しては、周りの児童が助けるように促す。

4 学習の効果

- ・タブレット端末を使用したことにより、児童は興味・関心をもって意欲的に授業に取り組むことができた。
- ・今回の授業では、四角形を分類することが目的なので、作図に時間をかけず、仲間分けに時間を多くとることができた。
- ・一人一人タブレット端末を使用したことで、児童がそれぞれ仲間分けの活動をすることができ、他の児童の考えも大型ディスプレイに映して共有することもできた。